

旧気象庁宿舎を活用した 実践的消火訓練

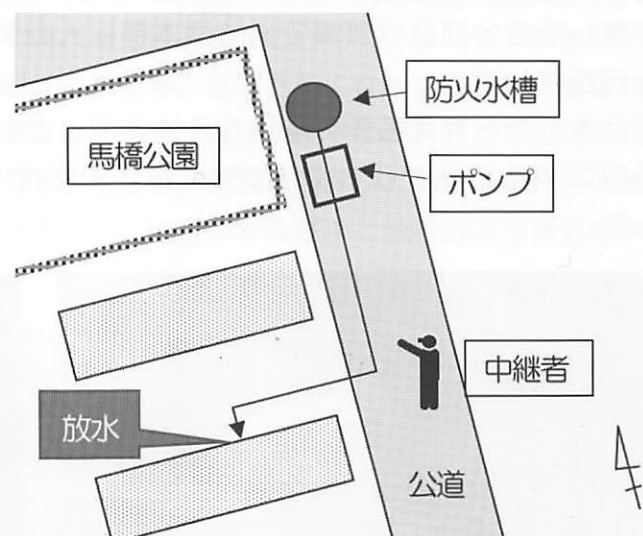
令和元年7月21日(日)馬橋公園東側の旧気象庁宿舎を利用して放水訓練を行いました。マグニチュード7.3会の西協会長を中心に、馬橋北自治会・馬橋新生会・馬橋南自治会と合同で約25名が参加し、第5分団からは5名、消防署からは阿佐ヶ谷・馬橋出張所が訓練に参加しました。ポンプは、C級・D級可搬ポンプを使用して操法をそれぞれ二回ずつ行いました。設定は、馬橋公園東側入口付近の防火水槽から公道を南方向へ20メートル進み、そこから右へ90度曲がり旧気象庁宿舎内に入り10メートルの場所が放水場所になり、標的は5階建ての3階部分で訓練を行いました。

指揮者の「操作はじめ!」の号令でホースを5本繋ぎ、1番員が筒先を保持し2番員がホースを抱えて待機します。その後、指揮者の「放水!」の合図で、宿舎入口の角の中継者を経由して4番員がエンジンを始動し、放水を開始しながら回転数を操作し0.5Mpaに水圧を固定します。1・2番員は、ホースに掛かる圧力を体で感じ、腰を下げ両足を踏ん張り3階の標的に向けて放水を実施していました。



今回は、実際の建物を使用した訓練であったため臨場感があり、参加された町会の方々や第5分団も大変充実した訓練となりました。

(一般に家庭の蛇口から出る水圧は、0.2~0.39Mpaです。地域や受水槽設置の建物等で差があります。)



東京消防庁だけでなく、各地で解体予定の建物を利用した実践的な訓練が行われています。



全国女性消防団員活性化大会

第25回全国女性消防団員活性化青森大会が令和元年9月19日(木)新青森県総合運動公園マエダアリーナで行われました。

東日本大震災から8年半余りがたち、笑顔の戻ってきた東北地域での開催となりました。大会テーマは『女性消防団員新時代へ「わ(私)と、な(あなた)の出会い』です。



近年の災害は従来とは様変わりしてきており、地域を支える女性団員への期待が高まっています。そこで、この8年半の東北の女性消防団員の経験を伝えてもらい、それぞれが地元での消防団活動の活性化や地域の防災力向上に役立てていこうと、全国から約2,300人の女性団員が集まりました。

<参加した団員からの報告>

今年も活動事例発表がありました。地元の小学校や保育園などで女性消防団員による寸劇を行う事により、防災意識の向上を図っていました。

また、パネルディスカッションでは一人暮らし家庭や老夫婦家庭などの情報を地域の団員が事前に把握していたので、災害から守ることができたという事例も報告がありました。

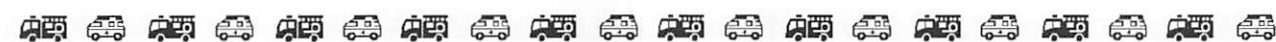
私自身も地域の方々との連携は大事だと思いました。これからも消防団活動に力を入れていきたいと思いました。

◆◆ 入 団 ◆◆

【 8月 1日付】 手嶋 浩二(第5分団) 須藤 輝大(第6分団) 金田 美緒(第8分団)
【10月 1日付】 木下 忠(団本部) 高木 貴史(第1分団) 山口 毅(第9分団)

◆◆ 退 団 ◆◆

【 9月30日付】 丹治 久仁(第2分団) 奥村 泰憲(第4分団) 中元 直樹(第6分団)
市倉 由佳(第6分団) 佐藤 雅之(第8分団)



杉並消防団管轄内*に在住・在勤・在学のすべての18歳以上の健康な方

学生・主婦(夫)・フリーター 可

被服はすべて貸与・職務中は特別地方公務員・活動手当有り
福利厚生イベント【杉並消防団家族のつどい】年一回実施

▼▼ お問い合わせは ▼▼

杉並消防団本部 03-3393-0119(内線320)



杉並消防団員募集中



*杉並消防団の管轄はおおまかという環八の東側

杉並区合同水防訓練



令和元年6月15日(土)区立桃井原っぱ公園に於いて杉並区合同水防訓練が行われました。雨の降る肌寒い天候の中、荻窪消防団と杉並消防団第5・6・7・8分団の指定団員、災害時支援ボランティア、中学生レスキュー、杉並区職員、下水道局職員など189名が参加し、来賓や地域住民に見守られる中訓練が行われました。消防団は活動用雨外とう(雨具)の上に救命胴衣を着用し活動にあたりました。

災害発生の一報の後、出動の指令を受け速やかに現場に到着すると、積み土のう工法、改良型積み土のう工法(土のうをブルーシートを用いて補強する工法)にあたり、スコップを持つ者、土のうを支える者、運搬する者、土のうを積む者などに任務分担し、迅速に作業が行われました。災害に備えた実践的な訓練であり、大変有意義な一日となりました。

台風接近のため参集・警戒

令和元年9月8日(日)と10月12日(土)大型の台風が日本に上陸し、杉並区全域も水防第三非常配備態勢が発令され、団員は各分団本部に参集しました。

参集した各分団員は無線で消防団本部に人員報告を行いながら河川氾濫などに備え、出動命令を待ちました。

分団本部から見える外の様子からは時間とともに雨風が強くなり、道を行く人や車が消え、普段目にするものよりも遥かに強く窓に叩き付けられる雨粒と振動から台風の大きさが伺えました。



【第6分団】特に落ち葉の多い地域の排水口の点検



【第7分団】橋が多い受け持ち地域を積載車で巡回

「妙法寺ふれあい祭り」第2分団広報活動について

令和元年6月23日(日)第2分団管轄の堀ノ内にある妙法寺の境内で毎年開催されている「妙法寺ふれあい祭り」に、消防団広報及び入団促進の一助になる期待を込めて、第2分団が参加しました。地元妙法寺門前通り商店会主催、杉並区、杉並区教育委員会の後援、地元町会等の協力のもと今回で11回目の開催となります。阿波踊り、沖縄エイサー、チアリーディング等の踊り、和太鼓、お琴演奏等盛り沢山のイベントの中、消防団は入団促進活動、村越義男前団長から寄贈していただいた電動ミニ消防カーを担当しました。ミニカーを運転している子供たちの姿は、将来消防団活動を担う姿と重なり、保護者を含め、そう思っているのは私たち消防団だけではないことは、この写真からも想像できるのではないのでしょうか。



はたらく消防の写生会表彰式・消防フェア

東京消防庁では、例年春に「はたらく消防の写生会」を管下各地域の小中学校などで行っています。杉並消防団においては、数えて第69回となる今年も、写生モデルとして各分団写生会に参加しました。この度、杉並消防署管内で応募された2,300点を超える作品の中から、選ばれた優秀64点・入選115点の表彰式が、令和元年9月16日(月・祝)、明治大学和泉キャンパスにおいて行われました。

併催として消防フェアも行われ、集合した消防車両が華を添えました。このフェアで、杉並消防団は第1分団と第2分団が参加し、積載車の展示、資器材の説明等、広報活動に従事しました。表彰式に臨んだ子供たちとそのご家族が、たくさんの消防車両に目を輝かせ興味津々に質問をしたり、ミニ防火衣を羽織って記念撮影をしたり、また消火器の使い方を学んだり、起震車に乗って地震の揺れを体感したり、それぞれ思い思いに楽しんで過ごしていただけました。地域のみなさまと触れ合える機会を大切にしたいと、思いを新たにす一日となりました。

